

2026 年 10 月 15 日

各 位

株式会社 ジェーシービー
株式会社 りそなホールディングス

株式会社ジェーシービーと株式会社りそなホールディングスの資本業務提携契約の締結について

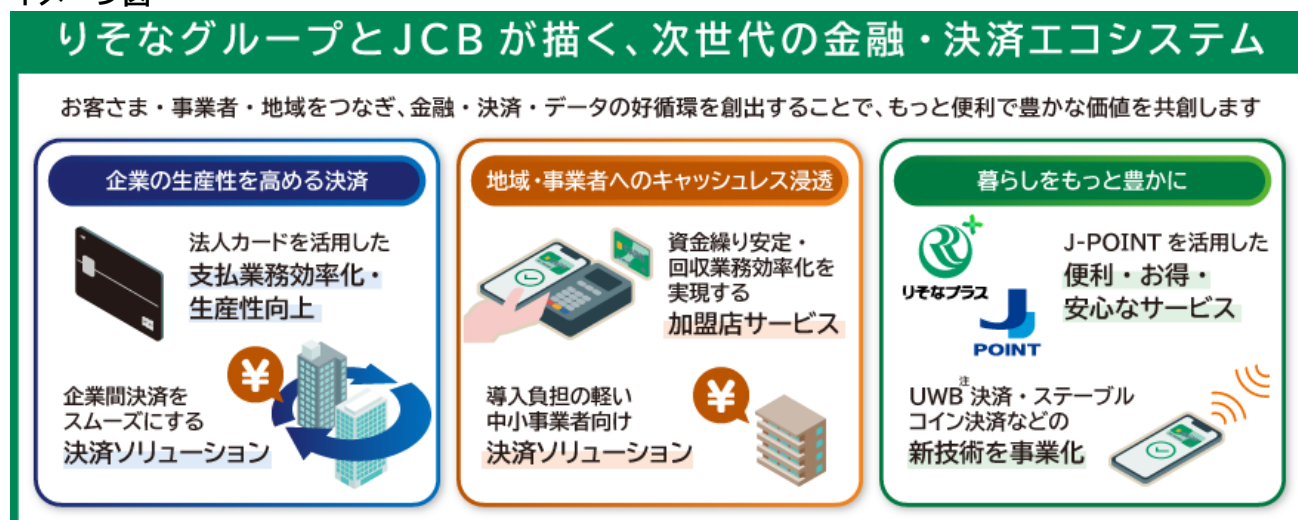
株式会社ジェーシービー(代表取締役会長兼執行役員社長 二重 孝好、以下「JCB」)と、株式会社りそなホールディングス(社長 南 昌宏)は、これまでの協業をさらに深化させ、両社の取り組みを継続的に推進するため、本日、資本業務提携契約を締結いたしました。りそなホールディングスは JCB の発行済株式の 2.24% を既存株主から 11 月中旬頃に取得する予定です。なお、本件株式取得により、りそなグループの JCB 株式保有割合は 5.27% となります。

1. 背景・目的

キャッシュレス決済の進展やデジタル技術の発展により、お客さまが求める金融サービスは大きく変化しています。法人のお客さまにおいては支払・回収業務の効率化や資金管理の高度化、個人のお客さまにおいては日常生活に溶け込んだシームレスで利便性の高いサービスへの期待が高まっています。

こうした環境変化を踏まえ、両社は、JCB が有する日本発唯一の国際カードブランドとしての決済ネットワークや加盟店基盤および決済ソリューションに関する知見と、りそなグループが有する金融機能や法人・個人のお客さまとの接点、地域に根差したネットワークを融合することで、金融と決済の枠を越えた新たな価値の創出を目指します。

イメージ図



注 超広帯域無線通信技術の略称で、非常に広い周波数帯域を使用する無線通信技術。短時間のパルス信号を用いて高精度な位置測位や近距離での高速通信を実現。主な特徴としては「広い帯域幅」、「高精度な位置測位」、「低消費電力」

2. 資本業務提携により目指すもの

(1) 企業の生産性を高める決済サービスの提供拡大

法人カードや企業間決済領域におけるサービスの拡充を通じて、企業における決済業務の効率化や資金管理の高度化を支援します。両社の強みを活かし、決済と金融をシームレスに連携させることで、企業の生産性向上や事業成長に貢献するサービスの提供を目指します。

(2) 地域・事業者へのキャッシュレス浸透

両社が有する顧客基盤や加盟店ネットワークを活用し、地域や日常生活のさまざまな場面で、より便

利で安全・安心な決済体験を提供します。単なる決済手段にとどめず、地域のお客さまと事業者を金融サービスにつなぐ接点として活用し、新たなサービスや利用体験の創出に取り組みます。

(3)暮らしをもっと豊かにする新たなサービスの創出

両社が有する決済・金融分野の知見やデータ、デジタル技術を活用し、お客さまのニーズや生活行動に寄り添った商品・サービスの創出に取り組みます。個人のお客さまには日常生活をより便利にするサービスに取り組むとともに、法人のお客さまの事業活動や経営判断を支えるソリューションを提供してまいります。

3. これまでの協業と今後の展開

今回の資本業務提携は、両社がこれまで積み重ねてきた協業をさらに発展させるものです。両社は、2014年のりそなクレジットカード〈クラブポイントプラス〉JCBでの協業に加え、2024年の法人決済分野における業務提携を通じて、法人領域や次世代決済領域などで連携を深めてきました。本提携を新たな出発点として、金融と決済の両分野における両社の強みを活かした新たなサービスや事業機会の創出に取り組みます。お客さまの利便性向上や事業成長の支援を通じて、地域・社会への新たな価値の提供を目指します。

イメージ図



以 上